

今は、小学校6年生までに60%以上の女子が「初経(初めての月経)」を迎えています。中には、おせっかい過ぎるお母さんもいて、「うちのママは、(初経のお祝いに)いつでもお赤飯が炊けるようにスタンバイして、毎日、『どう? まだ?』って聞いてくる。ウザッタイです」と訴える子もいます。初経を迎えた女の子へのお父さんの反応にも「生理が始まった日、お赤飯を炊いて食卓にごちそうがたくさん並んだ。お父さんが『ほう、お前も女になったか、おめでと〜』と、いやらしい目つきで私を見たのでムカついた」と。

お母さんの「どう? まだ?」の催促も、お父さんの「ほう、お前も女になったか」なども、親の無神経な言葉が思春期の女の子の自尊、心を傷つけることを知って、気を付けましょう。

一方、男の子の精通(初めての射精)は、小6で25%が体験しています。夢精などについては、お父さんの出番です。男の子の声変わりなどの変化に気付いたら、一緒にお風呂に入る機会をとらえて「お父さんも小6の時に、(夢精を)寝小便かと思つて

わが子の初経・夢精への対応 —さりげなく助言して—

びっくり。後で、精液が飛び出したんだって分かって安心したよ」などと話してあげましょう。

私がよく質問されるのは、シングルママの男の子への助言の難しさ、シングルパパの女の子への対応の難しさです。シングルママは男の子に「夢精のあとのブリーフは、水洗いしてから洗濯機に入れてね」。シングルパパは女の子に「生理用品のための毎月のお小遣いの増額はいくらにしたらいいのかな」など、異性であるわが子の性的成長の知識を身につけ、さり気なく話しましょう。



実習：夢精後のブリーフ、生理用ショーツは、水洗いしてから洗濯機に入れようね！